

Abstract Only

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 64-018835

(43)Date of publication of application : 23.01.1989

(51)Int.Cl.

G06F 9/06

(21)Application number : 62-176358

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 14.07.1987

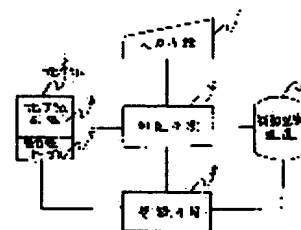
(72)Inventor : YOSHIKAWA SHOZO

## (54) PROGRAM REGISTRATION MANAGING SYSTEM

## (57)Abstract:

**PURPOSE:** To avoid the working defects in a program register managing system by adding a matching table including the matching information into a program so that a user can register unconsciously a program having the excellent matching properties into an auxiliary memory.

**CONSTITUTION:** A user designates a program 2 to be registered and an auxiliary memory 3 which registers the program 2 via an input means 1. A deciding means 4 refers to a matching table 7 to confirm the presence or absence of a related program. When the presence of said program is confirmed, the memory 3 is retrieved by the means 1. Thus a program having the same name as the program to be registered is retrieved and the matching properties of the program are decided by the means 4. The execution sequence is delivered to a registering means 5 as long as a release range is secured for a registered program. Thus the program is registered into the memory 3.



1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200

## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

BEST AVAILABLE COPY

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭64-18835

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

G 06 F 9/06

識別記号

310

庁内整理番号

A-7361-5B

⑭ 公開 昭和64年(1989)1月23日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 プログラム登録管理方式

⑯ 特 願 昭62-176358

⑰ 出 願 昭62(1987)7月14日

⑱ 発 明 者 吉 川 正 三 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

⑳ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

## 明 細 書

発明の名称

プログラム登録管理方式

特許請求の範囲

電子計算機処理システムの補助記憶装置にプログラムを登録するプログラム登録管理方式において、プログラムの中の適合性情報を含んだ適合性テーブルを比較することにより既に登録されている第1のプログラムとこれから登録する第2のプログラムとの適合性を判定する判定手段と、この判定手段の判定結果に基づいてリリース範囲内であれば前記第2のプログラムを補助記憶装置に登録する登録手段とを有することを特徴とするプログラム登録管理方式。

発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明はプログラム登録管理方式に関し、特に

プログラム間の適合性を意識したプログラム登録管理方式に関する。

(従来の技術)

従来のプログラム登録管理方式は、利用者が指示したプログラムを登録するのみで、登録されたプログラムと関連するプログラムとの適合性を全く意識せずに登録を行っていた。

(発明が解決しようとする課題点)

上述した従来のプログラム登録管理方式は、プログラムの登録と適合性とは別の考えであるという思想となっているため、登録したプログラムが他のプログラムと適合性がとれなく、所定の動作を行わない等の問題が生じる。また、利用者が登録済のプログラムの適合性情報をドキュメント化することで管理しなければならないという欠点がある。

本発明の目的は、プログラムの中に適合性情報を含んだ適合性テーブルを設けることによりプログラムの登録時に、関連するプログラム間の適合性のチェックを行えるプログラム登録管理方式を

## 特開昭64-18835(2)

提供することにある。

(問題点を解決するための手段)

本発明のプログラム登録管理方式は、電子計算機処理システムの補助記憶装置にプログラムを登録するプログラム登録管理方式において、プログラムの中の整合性情報を含んだ整合性テーブルを比較することにより既に登録されている第1のプログラムとこれから登録する第2のプログラムとの整合性を判定する判定手段と、この判定手段の判定結果に基づいてリリース範囲内であれば前記第2のプログラムを補助記憶装置に登録する登録手段とを有して構成されている。

(実施例)

次に本発明の実施例について図面を参照して説明する。

第1図は本発明の一実施例の構成図である。

第1図に示す入力手段1から、利用者が登録するプログラム2及びプログラムを登録する補助記憶装置3を指定する。ここで、プログラム2は、プログラム本体6と整合性テーブル7とに別れた

構造となっている。判定手段4は、入力手段1で指定したプログラム2の整合性テーブル7と、補助記憶装置3に登録されている関連するプログラムの整合性テーブルをすべて読込んで判定を行う。判定結果がリリース範囲内であれば登録手段5を起動させ、入力手段1で指定した補助記憶装置3に登録を行う。

第2図は、第1図に示すプログラムの整合性テーブル7の形式図であり、自プログラムが動作するオペレーティングシステムの名称、リリース範囲、リリースナンバー、バージョンナンバー、リビジョンナンバー、自プログラムおよび自プログラムと関連して動作するプログラムのプログラム名、リリース範囲、リリースナンバー、バージョンナンバー、リビジョンナンバーのデータフィールドから構成されている。

次に本実施例の動作説明を行う。利用者は入力手段1により、登録するプログラム2およびプログラムを登録する補助記憶装置3を指定する。指定後、判定手段4は登録するプログラム2の整合

性テーブル7を参照することで関連するプログラムが有るかを確かめる。関連するプログラムが有るときには、入力手段1において指定した補助記憶装置3の検索を行う。補助記憶装置3の中の既に登録されているプログラム群から、これから登録しようとするプログラムの整合性テーブル7の中に格納されている関連するプログラムのプログラム名と同じプログラムを検索し、判定手段4により該当するプログラムの整合性テーブルと登録するプログラム2の整合性テーブル7との判定を行う。判定方法として、整合性テーブル7の中のリリース範囲を参照する。ここでリリース範囲とは、この項目に格納されている内容が既に登録されているプログラムのバージョンナンバーおよびリビジョンナンバーよりも小さければリリースが可能だという数字が格納されている。このリリース範囲の内容を基に、既に登録されているプログラムのバージョンナンバーおよびリビジョンナンバーと比較し、リリース範囲の項目に格納されている数字が小さければ範囲内であると

認識する。判定結果がリリース範囲内であれば登録手段5に実行シーケンスを渡して補助記憶装置3に登録を行う。また、関連するプログラムが無いときには、そのまま登録手段5に実行シーケンスを渡して補助記憶装置3に登録を行う。

(発明の効果)

以上説明したように本発明のプログラム登録管理方式は、プログラム内に整合性情報を含んだ整合性テーブルを設けることにより、利用者が意識せずに整合性のとれたプログラムを補助記憶装置に登録することが可能であり、プログラムの不都合による動作不良を回避することができる。また、登録済のプログラムの整合性情報を利用者がドキュメント化する必要もなくなるという効果がある。

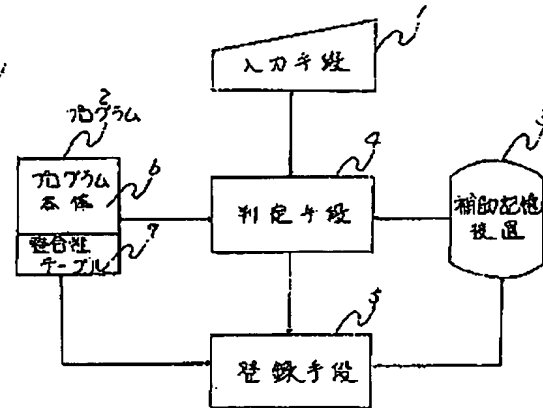
図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例の構成図、第2図は第1図に示すプログラムの整合性テーブルの形式図である。

特開昭64-18835 (3)

1…入力手段、2…プログラム、3…補助記憶  
装置、4…判定手段、5…登録手段、6…プログ  
ラム本体、7…適合性テーブル、

代理人 赤塚 内 原



第 1 図

オペレーティングシステム名	リリース範囲	リリースナンバ	バージョンナンバ	リビジョンナンバ	
自分自身のプログラム名	リリース範囲	リリースナンバ	バージョンナンバ	リビジョンナンバ	
関連する他のプログラム名	リリース範囲	リリースナンバ	バージョンナンバ	リビジョンナンバ	
関連する他のプログラム名	リリース範囲	リリースナンバ	バージョンナンバ	リビジョンナンバ	

第 2 図